

## マニラで開催された PIANC-COPEDEC に参加しました

第 10 回 COPEDEC(10 月 10 日～13 日開催)に岡田会長、小野国際協力委員会(CoCom)委員、港湾局山根国際調整官、鈴木事務局長が参加しました。

また、9 日には本部のエステバン会長、カペレン事務局長参加のもと、CoCom と PIANC のアジアにおける部会の合同会議が開催され、日本部会からはアジアに対する活動の現状を報告し、PIANC のアジアにおける活動促進に関する議論が交わされました。

日本部会としては、今後もアジアの中核として、PIANC のアジアでの活動促進に貢献していきたいと考えます。

COPEDEC(Conference on Coastal and Port Engineering in Developing Countries) とは、開発途上国の若手港湾関係技術者の論文発表会で、4 年に一度開催され、今回で 10 回目の開催となります。

PIANC の重要なイベントで、日本部会からは運営の支援を行っています。



CoCom とアジアの部会との合同会議



COPEDEC 開会式



今回の COPDEC は PPA (Philippines Port authority) を中心に運営され、約 70 編の技術論文が発表されました。早稲田大学の柴山先生は長年にわたって COPEDEC の論文審査委員を務められています。日本からはオリエンタル・コンサルタンツ・グローバルのウーチョー氏が論文を発表しました。また、日本部会が開催しているアジアセミナーで講師を務めていただいた、インドネシアのアチアリ氏、フィリピンのデ・レオン氏が出席して発表やセッション・チェア、論文審査委員を務めるなど、PIANC 日本部会のアジアとのネットワークが改めて、再確認されました。



(左より) アチアリ氏、参加者、柴山先生、岡田会長、デ・レオン氏



ウーチョー氏の発表